

取組方針

小松精練株式会社は地球温暖化、資源の枯渇、生物多様性の喪失など人類が直面するグローバルな課題に誠実に取り組み、人間社会の繁栄と環境保護との調和を図りながら、企業責任として、健全な地球環境の保護に向け最善を尽くすことを誓います。

1. 自然環境の保全

当社グループの企業活動においては、地域社会や自然環境への影響に配慮し、環境リスクの低減に努めます。

2. 環境法令・規則の遵守

国および地方自治体の定める水質、大気、騒音、有害物質等の規制並びに、国際的環境規制を遵守し、地球環境の保護に最善を尽くします。

3. 化学物質の管理

当社グループで使用する染料、薬品等について、環境負荷の大きな化学物質を徹底管理し代替物質への転換を図るとともに、グローバル規準の規制に対処し地球環境の保護に努めます。

4. 資源・エネルギーの節減と効率的利用

水、エネルギーの使用に関し、環境負荷低減の重要性を認識の上、資源、エネルギー等の利用の効率化と資源のリサイクル、及びそれに向けた設備・システム・作業方法の改善を継続的に行います。

5. 地球温暖化の防止

低炭素社会の構築に向け、環境負荷の少ないエネルギーの選択、省エネルギー設備の導入等により CO2 の排出削減に努め、環境に配慮した商品開発等の環境共生ビジネスを展開し、地球温暖化防止に貢献します。

6. 産業廃棄物の削減とリサイクルの推進

産業廃棄物の発生抑制とリサイクルに取り組み、循環型社会の構築に向け努力します。

7. 環境教育の充実

環境教育を充実し環境倫理の向上普及に努め、当社グループ内における教育・広報活動等を通じて、全員参加による本方針の理解と環境に対する意識の向上を推進します。

8. 社会とのコミュニケーション

豊かな地球環境を次世代に継承するため、社会との対話に基づいた取り組みを行うとともに、環境保全活動に関する情報を積極的に開示するよう努めます。

制定 1999年 4月 1日

改訂 2015年 12月 1日

小松精練株式会社

代表取締役社長 池田 哲夫

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一	二酸化炭素の排出量を、2005年度実績を基準として2020年まで10%削減を継続達成する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 省エネルギー設備の導入 ② 廃熱回収を行う ③ 乾燥度合を検知し、蒸気供給量を自動制御し、無駄を省く ④ 使用していないエリアの消灯を徹底する ⑤ 使用していないエリアの空調を停止する ⑥ ノー残業デーを設けるなど残業を減らし早めの照明・空調の電源オフに心がける ⑦ インバーターによって工場設備のモーター回転数を制御する ⑧ ボイラーの低空気比運転を徹底する ⑨ 事業活動の実施、催し開催の際、適正な照明・電飾に努め、過度な冷暖房を控える ⑩ 利用・使用段階で省エネ・節電に資する製品やサービスを製造する

目標二	廃棄物の排出量を、2005年度実績を基準として2020年までに80%削減を達成する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① リサイクル先の探索をする ② 繊維クズの発生量を削減する ③ ④

目標-3	生産活動に関わる水の使用量を減らすよう努める
具体的な取組	① 精練機を節水型精練機への入替えを進める

■ 環境行動計画の実施体制

環境行動計画に沿って環境保全活動を推進するために、取締役（環境管理責任者）を委員長とする環境管理委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。